

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月8日作成)

小委員会名	小規模建築物基礎設計指針改定小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	主 査 名：平出 務 就任年月：2017年4月 委員長名：塩原 等 主 査 名：土方勝一郎
設 置 期 間	2017年4月 ～ 2021年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>小規模建築物基礎設計指針について、建築基礎構造分野および2008年刊行以後の小規模建築物基礎構造分野における新たな知見を反映した改定を行う。</p> <p>初年度：小規模建築物基礎設計指針（2008）における課題の抽出と整理・検討、関連指針類との整合性の確認</p> <p>2年度：課題への対応と指針改定の方向性、改定箇所と内容の検討</p> <p>3年度：本文（案）の整理、2019年度版建築基礎構造設計指針との整合確認</p> <p>4年度：本文（案）の検討、2019年度版建築基礎構造設計指針との整合確認</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	<p>主査：平出 務(建築研究所)</p> <p>幹事：松下克也(ミサワホーム総合研究所),三辻和弥(山形大学)</p> <p>委員：酒匂教明(日本大学),杉山太宏(東海大学),森 友宏(前橋工科大学),金子 治(広島工業大学),市村仁志(大和ハウス工業),小川正宏(報国エンジニアリング),久世直哉(ベターリビング),権田将也(三井ホーム),品川恭一(一条工務店),高田 徹(設計室ソイル), 二川和貴(積水化学),渡辺佳勝(トラバース)</p>	
設置WG (WG名：目的)	<p>小規模建築物基礎地盤調査WG：</p> <ul style="list-style-type: none"> 地盤調査方法、地盤評価方法に関する改定箇所と内容の検討 <p>小規模建築物基礎設計WG：</p> <ul style="list-style-type: none"> 小規模建築物基礎の設計に関する改定箇所と内容の検討 	
2020年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	1回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 本文（案）の検討と小規模建築物基礎設計関係者への小規模指針に関するアンケート実施とその取り纏めを行った。 2019年度版建築基礎構造設計指針との整合性（地震時被害状況と要求性能の整理）について検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 小規模建築物で一般的な地盤調査方法JIS-A1221（2020）が改定（名称変更：スクリーウエイト貫入試験方法,略称SWS試験）された。旧JISとの比較及び影響確認が必要。